

福島縣人諸君に謹告す
 来る九月廿八日(下)四時半より朝鮮神宮神
 前に於て松平義子(子)の御葬儀奉式式執
 行し御神拜禮後同神前に於て秋奉縣人會
 開催可致候間查つて御參會相成り度(御婦
 人の方々も此致通告也)

但し二時迄も此致通告也
 尚御葬儀に御參會の事
 當縣に御葬儀に御參會の事
 當縣に御葬儀に御參會の事

福島縣人會幹事宛
 昭和三年九月

式名義典(松平)廣告
 前記松平義子(子)の御葬儀奉式式執
 行し御神拜禮後同神前に於て秋奉縣人會
 開催可致候間查つて御參會相成り度(御婦
 人の方々も此致通告也)

但し二時迄も此致通告也
 尚御葬儀に御參會の事
 當縣に御葬儀に御參會の事
 當縣に御葬儀に御參會の事

福島縣人會幹事宛
 昭和三年九月

福島縣人會幹事宛
 昭和三年九月

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

出雲大社
 大祭
 除日
 除日
 除日

(二)

日銀券も増發

同收されたた日銀兌換券は一日の朝發上は發行萬一千五百七十九萬大圓、正指拂上は千七百七十三萬圓に上つて、八百七十三萬圓に増加を示し、方發行餘力は千七百七十五萬圓と九百九十三萬圓の減少である。これは日銀兌換券の増發によるもので民間銀行の發行餘力も七億九千九百二十萬圓以上と對照されてゐる。

島谷の配船目下協議中

[illegible]

舉直戰爭で炭鑛地帯

販賣關係の火曜日代辦店よりな
 五二番が共に動東鎮街で現在の
 定価段二十二圓を出來うべくは
 十三、四圓位までセリ上げる屋
 を取つてゐる。しかし限りある

我内地炭
を積するに
おいては
我内地炭
を積するに
おいては
我内地炭

新義州貿易

八月の中の新羅州港の貿易は輸出は百四十二萬五千六百九十一圓、輸入は二百一萬四千六百十五圓、對百四十四萬三千六百圓で、之れを年と比較すると輸出は六十七萬三千圓を増加したるが、輸入は

た極端であるが、大體總體

平北鎮城(十五日)	同(同)	同(乾)	白蘭
忠北丹陽(十八日)	同(十九日)	同	白蘭
同(沃川二十日)	同(同)	同	同
同(我恩同)	同(同)	同	同
同(全北鎭山同)	同(同)	同	同
同(慶南河東同)	同(同)	同	同
同(同)	同(同)	同	同
平北軍進二十日	同(乾)	同	同

借權者協議

東新一本で
依然味なし
後場 前場保台の懸先、
は内地の變りなき齟齬に當所
乗り遅れ、商内も東新一本のみ
で、かくて昨後止に比し
九千餘圓と斷止と同率であつた
東新を中心に
一相場起るか
今は別段人衆を動員する懸

に關したまた種々なる意見あるが、
 左の如くである

[illegible]

なくその六朝までは中間商人と通商家を利せしめたのである、

下旬貿易にも餘り期待して居
状態なので此邊強いて買込む
く只内地市場に於ける田薪の
相場の成行如何を重視しなが
内をしてゐる、かくの如く双
脱み合の場面となつてゐるの
だ本日もすまいし此れは期

八月中	前月	前年平均
二五、六	三三、六	三三、九

大	取	新	新	新	取	買
棟	一	二	一	一	五	方
短	三	一	七	八	九	買
期						方

特電殖産司 (廿二日)

大株良期									
錦柄	前番	前引	後番						
大株	三〇六二	一〇七〇	三〇五二						
同新	五六	九八	五五						
久原	五五	五五	五五						
同新						
飛船						
同新						
同新	三五五	三五五	三五五						
同新	三五五	三五五	三五五						
日越						

れ等の監査につき調査して見る
八月中最も密をかけてゐた加金
ドナも則ち外れとなり其後も何

時は伏魔殿として相出の被其罪、爾の東が仕手の時て辱への是の成りき如何の外、の國を陷しなむといふが、然し乍ら、狀乞や殘模様に乍見と先づ此處が直頭といふ事出来るに、何れも是種の行動を避け其だ玉を國く守つて時、魔殿の得と云ふ行方であつたは片方力と目されたる京師のは廿九回緊要逃過すと云々居るが八旗は利便のの寶物て居た、其他の手段といつた行動に出る向は一人もつて此處は未だ密が往來出来ずるものな、とかも云

相場が保合つたのと休日控へて
般に氣乗り薄く商内も閑散であ
た、かくの如くなので代引札に

[illegible]

△東新の九月初冊から現在まで

に連日同じ市況を繰返し乍
一、二十銭安であつた③三
八圓三十銭四等二十七圓八
角五米二十六圓倉入玄米二
五十銭一等白米二十二圓五
白米二十八圓

大豆 新物出廻り付加

餅	同	東	餅	同	東
銀	新	銀	新	銀	新
一	一	一	一	一	一
東	同	東	同	東	同
拓	新	拓	新	拓	新
三	三	三	三	三	三

[illegible]

(三)	雷限	中限
(二)
(一)	...	先元

[illegible][illegible]

行庫
三
四
良



[The page contains several horizontal lines of noise and artifacts.]

つ有を命生の久永は版社造改

改造社版

經濟學全集

對絕璧完

京城日報

頁二十共夕朝紙本
日丁一第字大野取
報日誌政 社造改

第一回配本

〔目下配本中〕
全國各書店にあり御申込に同
時に御渡し出來ます。

經濟學原理總論及
生齋

〔經濟學全集
第二卷〕

法學博士 福田德三

稿新冊各

改造社版全集は一として代筆がない。談話筆記がない。原稿は各巻新稿だ。低調なる有りふれた講壇的產物でない。その一々を點検して下さい。永久に生命ある劃期的の名著揃ひだ。〔福田博士の前篇は改訂〕改造社版は斯界の絕對權威を總動員して實に於て比肩するものなし。而して分量に於ても一冊に普通全集の二冊分を盛る。河上博士の「經濟學大綱」は九月一日を以つて全部脱稿目下印刷中。福田博士は目下總ての客を謝絶し輕井澤にありて第三卷の執筆中である。

第二回配本

〔印刷中〕

經濟學大綱

〔經濟學全集
第一卷〕

法學博士 河上肇

既往に於ける我社の出版界に於ける一々の事業に、誠意、勇敢を返つて下さい。そして『經濟學全集』に對する全體的大計畫、創意、情熱が市中に流行するものとの點が異つて居るかを批判してもらひたい。我々は思慮ある大國民の學的、批判的基礎をつくらねばならぬ。我々はただ單なる簡易化を排斥する。低調なる講義錄的集成を排斥する。民族として奥と幅を要求する。その場限りの誤魔化しは我々が斷乎として排斥せねばならぬ。四十七卷の選擇はこうした遠大の志から生れたのだ。我々は超大學の大計畫を僅々一二年で學習せしめるの猿藝の持合せがない。自信ある經濟的批判力をつくるには數年の研鑽と忍耐とからのみ生れ来ることを知つてゐる。そして澎湃たる經濟界の轉動期に新興經濟學の協力を俟たないで現代のあらゆる事象を解釋するこの不可能なるを知つてゐる。これ一般經濟學に新興經濟學を對立せしめた所以だ。識者の絕對支持を俟つ。

日本統計學界の最高權威 高野岩三郎氏
權威の經濟學派の領袖 權威の經濟學派の領袖 權威の經濟學派の領袖
加藤氏に本氏に參全

社會統計論一斑 (決定)
法學博士 高野岩三郎
資本論體系 (商品・價值・貨幣・利潤) 決定
加藤氏に參全
權威の經濟學派の領袖 權威の經濟學派の領袖 權威の經濟學派の領袖

團體申込殺倒

改造社

呈進本見客內
に社本は又店書各園全は込申御
円壹冊一

圖說。四六列上製
(總) クロス金文字
入美本。函入九ボイ
ント組。一冊紙數約
五百頁乃至千頁。
頒布方法。昭和三年
十月より毎月一冊宛
刊行
申込方法。御申込の
際御申込金壹圓を御
拂込み下さい。申込
金は最後の合費に充
當します。最初の合
費は別に御拂込み
下さい。御申込金は
中途御解約の方へは
御拂戻致しません。
付金。毎月一冊に
付金。一冊一圓四
十七圓。金四十四圓。
送料。一冊一圓。

[illegible]

咸鏡北道

安南道

明公國行遠也

するにとゝなつたがこれでは金群からの觀望者の平座への觀望者を殺倒せ難き觀望者への乘取貸付金群中の廣銀道附では二十條以上の隙隙には二條十條以上の隙隙には三條五條を與へることゝなつた

— (威興) —

駐在所長に藤澤通志部長
駐在所長に木多重吉部長
駐在所長に佐藤達三部長
駐在所長に溝澤通志部長
原氏岳父逝去
内務部長藤澤通志部長
藤澤氏は病氣中の感二十一
日、通志氏、川上ルの昌宅
藤澤氏夫妻は二十一日平
朝、(鶴)した(平)

△
△
△
△

◆平福縣於上月十五日から十五日まで府内の非水検査を行ふ。
 ◆平福縣警備加盟店は十月十日か開御大典記念大減出しを
 保安課の調査に依るに本年同則に比し七百三十三圓増加で昨秋犯罪が最も増加

取らる

所増徴する
中宿舎生同校第二學年
(一五五) 廿日赤痢と陰定
宿舎は大消毒を行つた

山により捜査の

[illegible]

事思想
二功方其一人

一氏夫妻 二十日長安寺
讓兵隱匿遺所長 廿日夜
次郎（新任平福傳寶支局
長）廿日各方面（新任探

農 佔 北 邊

安南道
覽者の汽
賃引割

三段跳

では、余がからの「醜態」の
平直へ「翻」著者を發露せ
る醜態を承へるの乘取、良特
交談時、横濱へ鐵道通で二
十番以上の醜態には二十
十以上の醜態には三翻
此を興へることゝなつた
(平語)

部長異動　大岡繁長
十日付の如く廻査部長

あつた(平語)

駐在所に床次通査部長
駐在所に床次通査部長
佐所内に桑村通査部長

は其命じて歸る所その
くなつて斯く偽の申告
のである

駐在前に佐藤通孝、長
住佐藤長に海濱通孝部長
氏氏父交過去

内務部、陸軍部、海軍部、農林部、文部
部氏は、前記中の感十一
室町通、奥川上、自宅、
縣廳氏は、奥川上、自宅、
都へ歸來した（平順）

○……平順警務署、十月
月日、から十五日、ま
て、何日の非水検査を
行ふ

○……平順警察官同盟
店は、十月十三日、か

甘町の装飾を脱し

保嬰談の調査に依るに本
期の犯罪件数は七百三
十、前年比北に三百八十
五を加へれば、三十八五
五、即ち犯罪率が最も大
増した。

警察機關は近く自國電話
所を増設する。

市議會學生同校第(學年
一、二、三)廿日卒業と、修
了證書に大酒席を行つた。

力 集 會

披露會 服野牛北警察部
披露會 廿日午後七時より在官
廳に招待して新任の
を罷めた(朝報附)

日より餘興出し
列して市内繰り

田府井二十日移幕禮殿	
(仍舊必京城)	
內氏(慶州內務曹正)二十 八日	
六氏(休學師主)二十日	
北院務錄長二十五日卒	
三十五分大邱府的確定	
天氏(新任咸興道務錄長)	
晉川公家協同員赴任	
美卿(前任全州縣總署長)	

支店近藤社員

一氏夫妻 二十日長安寺
讓兵隱匿遺所長 廿日夜
次郎（新任平福傳寶支周
長）廿日各方面（新任探

現代

大驚異!!
内容大革新(筆十倍)の大増
見よ十月號!
よく大躍進

巨人 傳 デイスレー

鶴見祐輔



デイスレー
勝海舟
國民猛省の秋
正を蹈んで恐れず
常識の威力



高橋泥舟
久原遞相の青年時代
シヨペンハウエルに學ぶ眞理
海外に活躍する人々興味深き花形人物傳



山岡鐵舟
社會人としての紳士淑女
大正「神隱し事件」の真相
秘録



人間學
金持になる資格
信用を得る道
脂のつた抜けた人



修養道
青年水戸黃門
生命を捉へる事
徳



維新
海舟泥舟鐵舟
世界各國お國魂向上修養の活資料
太陽の黒點と天變面白天文の話



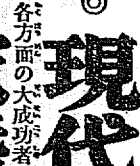
偉人傑士の面影一讀感奮逸話美談
治病健康闘病術の要諦
現代名士出世の條項



冠婚葬祭の常識作法
甫守謹吾



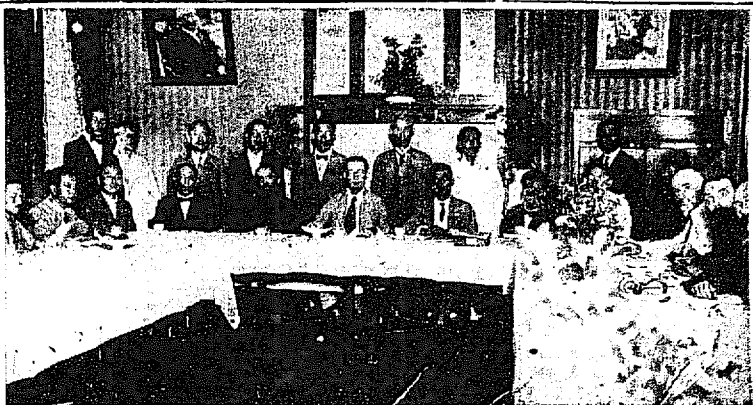
改正定價五十錢
全國各地書店にあり



維新風雲秘話
秋の詩歌隨筆感想



維新風雲秘話
秋の詩歌隨筆感想



フランス同好會臨時總會
(十一月日本駐在員會)

トルストイを想ふ B

人類のヒマ
ラヤ山脈

土井清一

トルストイの死後、世界は驚き、悲しみ、そして静寂に包まれた。その死は、人類の歴史に大きな刻を刻した。その死後、世界は驚き、悲しみ、そして静寂に包まれた。その死は、人類の歴史に大きな刻を刻した。



老女流作家

池内秀文史

老女流作家の一人、池内秀文史。その作品は、女性の生活、感情、そして社会への批判を描き、読者の心を捉える。その作品は、女性の生活、感情、そして社会への批判を描き、読者の心を捉える。

金剛山まで

笠神句山

金剛山まで。その山は、信仰の山、自然の山、そして人間の山。その山は、信仰の山、自然の山、そして人間の山。その山は、信仰の山、自然の山、そして人間の山。



京日俳壇

六月集

白田亞選

俳壇の盛況。多くの俳人たちが、自然の美しさを詠み、人間の感情を表現している。その作品は、読者の心を捉える。その作品は、読者の心を捉える。

一番よくきく

ローシンのむので仕事スズン

日ヤケ止ば

クラブ洗粉

本店謹製の

クラブ美クリーム

此のクラブ美クリームは素肌の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日々ケ止にして...

大群衆大人気の

衛生的の唯一の美身クリームなり

優良な技術に依り作られた優良な品

純良

ウイタミンB1及び含有第一

肝油

滋養強壯

無臭

大群衆大人気の

伊藤千太郎商店

月顔石鹸

此の銘酒和松

ツマカリ

若松商會出張員

電話本局九五五番

25年來の第一車

Buick

弊社は今日より一週間内に或優秀自動車に關する極めて重要な發表を致します

日本ゼネラル・モーターズ株式會社

